

## 令和4年度 第二回 学校評価 分析 ー和田っ子だより2月号 別紙ー

1月に実施させていただきました学校評価に関するアンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。アンケートの集計結果は、以下の通りです。いただいた結果を、今後の学校経営に生かし、改善を図ってまいります。

今年度は昨年度前期の設問と同じ、21項目の設問で行いました。皆様にご協力いただいた後期の回答率は、97.2%でした。アンケートの全設問において、「A 十分達成できている」「B おおむね達成できている」の肯定的回答が、「C どちらかというとな達成できていない」「D ほとんど達成できていない」の否定的回答を上回っていて、全設問における肯定的回答の平均は95.5%となっており、(前期92.8%)本校の教育活動がおおむね支持されているものと受け止めております。

今回は20項目について80%以上の肯定的な回答をいただきました。特に、90%以上であった設問は17問です。(前期は13項目)

- ① 児童は楽しく学校に登校している。(97%)
- ② 児童は基本的な生活習慣が身についている。(97%)
- ③ 児童の友人関係は良好である。(97%)
- ⑤ 児童は楽しく学習に取り組んでいる。(97%)
- ⑧ 児童にとって魅力ある学校行事が行われている。(100%)
- ⑨ 教職員は児童に対してわかりやすく楽しい授業が行っている。(100%)
- ⑩ 教職員は児童とよりよい関係を築いている。(100%)
- ⑪ 教職員は児童の発育や健康、衛生について配慮している。(100%)
- ⑫ 教職員は教育的支援を必要としている児童への支援や配慮をしている。(100%)
- ⑬ 教職員は児童の良い面を伸ばし、個性を伸ばす教育をしている。(100%)
- ⑭ 教職員はいじめや仲間はずれをしない学級づくりをしている。(97%)
- ⑯ 学校は学校だよりやホームページ、メールなどで情報発信している。(100%)
- ⑰ 学校は校外学習や体験学習など子供の成長を考えた学校行事を行っている。(100%)
- ⑱ 本校は保護者・地域の願いを受け止める努力をしている。(92%)
- ⑲ 本校には他の学校にない特色がある。(92%)
- ⑳ 本校は児童の安心安全な生活環境整備に対して適切な対応をしている。(100%)
- ㉑ 本校は感染症予防対策に努めている。(100%)

具体的には、100%の評価をいただいた項目が、3項目から10項目に増えました。増えた項目は、以下の通りです。(前期は①⑨⑳)

- ⑧ 児童にとって魅力ある学校行事が行われている。
- ⑩ 教職員は児童とよりよい関係を築いている。
- ⑪ 教職員は児童の発育や健康、衛生について配慮している。
- ⑫ 教職員は教育的支援を必要としている児童への支援や配慮をしている。
- ⑬ 教職員は児童の良い面を伸ばし、個性を伸ばす教育をしている。
- ⑯ 学校は学校だよりやホームページ、メールなどで情報発信している。

- ⑰ 学校は校外学習や体験学習など子供の成長を考えた学校行事を行っている。
- ⑳ 本校は児童の安心安全な生活環境整備に対して適切な対応をしている。

その中で、前期から最も上昇率が高かった項目が⑧です。(86%→100%)⑧⑰については、コロナ禍が続く中でも感染防止対策をしっかりと考えながら、修学旅行、校外学習などの学校行事および学年に応じた体験学習を予定通り行えたことへの評価と考えます。小規模だからこそできる、貸し切り宿での修学旅行、2学年合同の校外学習、タクシーを使つての社会科見学、地域ボランティアの方に協力をいただき実現した「米作り体験」「大和いも植え付け・収穫体験」「機織り体験」「味噌作り体験」など、どれも子供たちが目を輝かせて活動をしていました。⑩⑪⑫⑬については、子供の学びを止めないためのタブレットを使ったオンライン学習の実施、本校職員が子供たちとよくふれあい、個に応じた支援や配慮に頑張っていたことを評価していただけたものと感謝しております。⑯については、ホームページを毎月更新し、学校・学年・学級だよりや校外学習当日の様子、緊急時の情報をマチコミメール等で随時伝えていたことを評価していただけたと考えております。これからも、上記の評価に感謝しつつ、よりよい教育を目指して努力を続けてまいりたいと思います。

また、上昇率が高かった項目は、⑤児童は楽しく学習に取り組んでいる。(89%→97%)⑥児童の基礎学力は十分に身に付いている。(80%→89%)です。これは、分かった、できたという気持ちをもてる児童が増えたと考えられ、分かりやすい授業づくりを目指して日々教材研究に励んでいる教職員の成果が表れたととらえています。

課題として、④児童は気持ちの良い挨拶や返事をしている。(89%→72%)です。前期より16%も下降してしまいました。職員室への出入りの仕方や校内ですれ違った時のあいさつは、だいぶ定着してきました。しかし、まだ大人から声をかけても「おはようございます」の声が聞こえない児童がいるのがさみしい所です。これからは、今まで以上に教職員が進んで挨拶をし、子供たちへの働きかけをすると同時に、高学年になるにつれ、自ら進んで挨拶ができるようにすること、高学年から低学年に進んで声かけをすることなど、子供同士の働きかけをすることにも力を入れていこうと思います。また、登下校時や来校者、さらに地域で出会った方々にご挨拶ができる和田っ子を目指していきたいと思います。

今回のアンケート結果、及び、いただきましたご意見・ご要望につきまして、来年度の教育課程に反映できるよう検討を進めてまいります。また、アンケート結果は、学校ホームページでも公表する予定です。

